

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（STACY（定常臨界実験装置）施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（8）

2. 日時：令和5年3月9日（木）10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁8階北会議室（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

金子安全規制調整官、立元管理官補佐、島村主任安全審査官、
澁谷安全審査専門職、井上安全審査専門職、三好技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部

次長 他3名

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部

施設保安管理課 マネージャー 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料1：STACY 施設設工認（実験用装荷物の製作及びデブリ模擬炉心の新設）【指摘事項回答】（ST-8-1）

資料2：補足説明資料1（燃料試料挿入管の密封性確認検査の方法について）（ST-8-2）

資料3：補足説明資料2（STACY 設工認に係る審査会合（令和5年1月30日）での指摘事項対応のための解析結果）（ST-8-3）

資料4：補足説明資料3（臨界実験装置における核的制限値の担保について）（ST-8-4）

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	規制庁、井上でございます。それではS T A C Yの設置公認のヒアリング、第8回目のヒアリング、開始したいと思います。
0:00:19	本日のヒアリングはですね、
0:00:23	次回の
0:00:25	布施施設公認の審査会合、
0:00:30	3月24日か31日を、
0:00:34	現在は予定しておりますけども、そちらの、
0:00:37	資料の確認と、
0:00:40	いうところを主にさせていただければと思います。
0:00:45	本日のヒアリングですけども、
0:00:49	まず前回の第7回のヒアリングの
0:00:52	こちらからのコメントってのはそもそも何があったのか。
0:00:56	いうところを確認させていただいた後にですね、
0:01:01	ヒアリングのコメントとして、コメント回答として、こんなことをやり、
0:01:05	こんなことを変えましたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:07	いったところ、後、あると思いますので、そういったところを、主に説明いただくと。
0:01:14	そうした流れで進めていきたいと思いますが、
0:01:18	どうでしょう。
0:01:19	はい。
0:01:23	ありがとう。
0:01:24	それではまず、前回のヒアリングのコメントとして何があったかというところについて、
0:01:32	J Aの方から
0:01:35	ご説明をお願いいたします。
0:01:38	はい。原子力、戸井田です。それでは前回の内容の確認ということでさせていただきます。まず資料本日2種類ございます。番号付きの資料が、F T
0:01:51	8-1 から4まで、
0:01:54	終わらせていただきますと、
0:01:59	担当です。
0:02:00	番号なしの質問管理表。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:05	先ほどおっしゃっていただきます、前回コメント確認というのはこの番号なしの参考資料F Pの最終ページ、5分の5ページを見ていただきます。
0:02:19	コメントは、書いてございます。
0:02:22	それではちょっと順番にさせていただきますけれども、まず58番ですね、審査会合の指摘事項一覧を追加することと、刈り取り表とおっしゃられましたけれども、
0:02:34	提起事項にどういうものがあるって、どこまで回答したのかということが審査会合資料の中で管理できるように、
0:02:41	ということで、私ども今回、審査会合に追加してございます。それから59番ですね、これは年初の資料、投入管についてですけれども、私どもが放射線の著しい変形等の異常とか書いてありましたけれども具体的にどのように、
0:02:59	な設計の考え方でどのように確保していくのかを、資料に記載することと、今回これ審査会合資料と補足説明資料を作りまして回答。
0:03:09	それから60番、固定方針に係る記載は不満で事務今までお示ししていたようにすべて指名するというので、今回改正しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:20	61 番、定性的な記載でなく定常的な記載すること、これ全体見直しまして、定量的な記載を心がけております。
0:03:30	それから 62 番、オーニングですね、これは年次の治療挿入管を締め付けるリンの
0:03:35	交換頻度等についてこれはきちんと記載、私も口頭で答えたことですね、保安規定通りに定めて行いますと申し上げましたけども口頭で答えたことは、機械、
0:03:47	ここで書いてございます。
0:03:49	それから、63 番も同じようなことでございます。リングよりある口頭でお答えいたしましたけれども、記載することということで対応してございます。
0:03:59	それから 64 番、これは事業設置口頭倍率のデジタル値が保障もあるということで、各種デジタル企業解析資料の補足説明資料の方に表で記載をしておる。
0:04:12	それから 65 番ですね。1 標準化程度等の
0:04:17	定性的な記載。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:18	これは 61 番、同じようなことでございます。絶対していきたいということということで、これも、
0:04:26	赤井具体的に、台風、
0:04:29	直して、
0:04:31	今日は、私も前回いただいた、
0:04:36	規制庁井上でございます。
0:04:39	ただいまの説明に対しまして
0:04:43	何かコメントがそもそも違うよとか、抜け漏れがありますよ。
0:04:47	そういったことございましたら、お願い、規制庁側からお願いいたします。
0:04:58	規制庁志村ですけども、
0:05:01	今回、
0:05:02	もちょっと青木部長のシブヤですけども、次回の審査会合には関係ないんですけども、ステック事項といいますか、ちょっと
0:05:13	技術基準の適合性及びトラン整合性に関する記載の拡充ということですけども、これは多分、第 3 回の審査会合になると思うんですけども、4 点代表例なんかを説明するものと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	具体的な考え方とか、代表で以外のものをすべて記載するものを支援として分けてくださいっていう、コメントがあったかと思しますので、
0:05:36	それも次回の理事会になりますけどもよろしくをお願いします。
0:05:40	はい、戸井田です。はい。承知いたしました。理事会の小野塚伊勢審査会審査会合資料からその代表例ではなくて、説明資料できちんと、
0:05:50	これな。
0:05:53	はい、お答えをさせていただきます。
0:05:57	規制庁、井上でございます。
0:05:59	その他養老市、
0:06:01	ね。
0:06:07	あまりしました。
0:06:21	同じ内容がほかのところでいいかという。
0:06:26	ページを開いて、
0:06:35	戸井田です。これに関しては、パワー食うはこの
0:06:41	ページの中に、赤線等で示した、ここを固定しますというところを固定すると書いてなかったところに対して対応したものとしてこちら
0:06:51	内容を、はい、第1点。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:54	先週、このスタイルの場合はつけていないという、そういう
0:07:07	補正するもの。
0:07:09	ところで、これは正の方針ですけれども、
0:07:14	はい。
0:07:18	ちゃんとわかるようにしてください。
0:07:22	はい。
0:07:23	で見ればいいわけではなくて、
0:07:26	非常に何か、
0:07:29	そういうものがあれば、
0:07:31	方針を示してるんですってということで、
0:07:36	現状の資料のつくりですと。はい。添付資料として追加する等書いてありますと、補填の方針をお示ししている。
0:07:50	30分。はい。そういった添付書類を追加するという、補正内容について隈元博でお示ししてわかりました。
0:07:59	はい。はい。
0:08:07	はい。定点だけど、
0:08:09	他よろしいですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:14	はい。それでは
0:08:18	ここのコメントに対してどう、どのような変更と修正をしたのかと。
0:08:24	いったところ、
0:08:26	ご説明いただく。
0:08:28	したいと思いますけども、まず、58 番から、
0:08:32	行いたいと思いますけども、58 番のコメントに対しまして、どのようなことをしたかと。
0:08:39	いうところでございます。そこ、
0:08:42	テクノへお願いいたします。
0:08:44	はい。原子力機構の新垣です。58 番について説明いたします。
0:08:48	まず審査会合、
0:08:50	市の指摘事項一覧を追加することということで該当ページは 1 ページから 6 ページまでになっております。
0:08:57	この 1 ページから 6 ページの作り方なんですけど、まず、ラップ前段資料の番号とリンクするように作成しました。
0:09:05	その番号ごとに指摘事項、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:09	内容が過不足なく、まとめまして、一対一で回答できるような仕様としております。
0:09:16	具体的にはまず1ページなんですが、1ページの123については、記載の拡充等に関する事で、これ第3回の審査会合で説明すると。
0:09:26	させていただきます。
0:09:28	2ページ。
0:09:30	すいません。2ページが燃料資料挿入管に関する指摘事項4と5がありまして、
0:09:36	まず4放射性物質の漏えいとかに関する話。
0:09:40	あと5番がコーリングの
0:09:45	耐久性に関する話。
0:09:47	3ページいきまして3ページにデブリ構造材模擬体の材料であるし、コンクリートですね、これらに関する指摘事項が主にありますが、まず6番が、
0:09:58	設計仕様の中にこれまでコンクリートが入ってなかったのでコンクリートを追記することとなっております。
0:10:04	7番が、コンクリートのソノ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:08	水分量の変化ですね、これが影響するんじゃないかというコメントから
0:10:14	最終的にはその水分量の上限値を、
0:10:18	質問に申請書に記載させていただき
0:10:22	8番については、審査会合で回答済みの内容です。
0:10:25	9番。
0:10:26	こちら臨界実験装置が様々な進行性ができる場所の確定。
0:10:32	核的制限値を満たしているかの考えですね。
0:10:35	これ見通しを示すことということで今回、解析書の方で、
0:10:41	次、主要な重要な核的制限値なり原子炉停止運用を満足できるという 回答を準備しております。
0:10:48	4ページにいきまして、4ページは、
0:10:51	No.10ですね、こちらの指摘事項二つに分類してますって、
0:10:56	前は、①については核的制限値を満たすかどうかの見通しを示すことと いうことで、
0:11:02	なっております。こちらの先ほどと同様核的制限値を満たすような解析 書の方でお示しします。で、10番の②の方については、コンクリートの 密度が核特性に影響するのであればその説明と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	こちら解析書の方で、結果的に密度ではなく、水分量を喫煙するという回答と、
0:11:20	11番。
0:11:22	5ページの11番ですね、核的制限値をどのように満足させるか考え方を説明することということでこちらの、
0:11:29	この後17ページのところの方で
0:11:32	どのように満足させるかという考え方を説明しております。
0:11:36	6ページ、最後ですね。
0:11:38	No.12の積事項ですがこれ
0:11:41	これも二つに分類しまして、一番の方が核的制限値の満足に関する話と、
0:11:48	すみません、いわゆる原子炉停止とスタックマージンの見通しのお話ですね、満たす見通しのお話と、2番がコンクリートの水分移動のお話です。これはして、
0:11:58	議事項ナンバー10-0102のファイトと同様になりますので、
0:12:03	そのように書いております。
0:12:08	はい。58番。質問管理表の58番に関する説明は以上となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:14	1 店長井上でございます。
0:12:17	す。
0:12:18	こちらからの投資コメントと、
0:12:20	指摘事項。
0:12:21	とあと対応状況と、該当ページがわかるようにしてくださいというコメントを出して、
0:12:27	いただいて、そのコメントが抜けのないように、落札面談の、
0:12:33	同様な、
0:12:34	形にしていると。
0:12:36	いうところかと思えますけれども、団体につきまして規制庁側から、
0:12:41	何かコメントございますでしょうか。
0:12:48	定義をさせてもらいたい。
0:12:54	一方で言うと、9番の。
0:13:01	結果は大事件でブルーム新保添付書類として追加するっていうのは、
0:13:07	これは、
0:13:10	には、
0:13:11	はい、じゃなくて別に説明しますっていうことが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:15	この三つを、
0:13:20	はい。
0:13:22	これに関しましては、このパートの資料には、結論だけを書きましてそれに対して補足説明資料を見て、追加の説明をすると。
0:13:32	はい。ございます。その補足説明資料の2、Aで行いました解析内容について新規書類として追加させていただきたい。
0:13:42	このような考えに続きます。
0:13:54	書き方が、はい。
0:13:56	補正する場合は固定という言葉を使っていたきたい。
0:14:03	後で説明しますよという意味ではなくて、今回、審査会合で説明した内容を、
0:14:11	補正書の曾田伊芸という2パターンという
0:14:18	はい。
0:14:21	原子力
0:14:22	この補足説明資料2については、バックアップメンバーの質疑事項の項目について、該当ページで分割してございますけれども、
0:14:32	申請書に追加して補正する場合には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:36	直接の資料に、そのままを、この順番で対変更しようと考えております。この方が、バラバラにならなくていいかなと思っております。
0:14:49	はい。JAの方は、繰り返しました。ありがとうございます。
0:14:55	規制庁、井上でございます。その他ございますでしょうか。
0:15:02	認識。
0:15:14	第1回審査会合ってのは本当は核燃料だとか何とか審査会合の第1回だと思っちゃうんですね。
0:15:21	なので、工夫ができるようであれば、
0:15:26	審査会合括弧電話まで行っていない。
0:15:30	しかし、
0:15:37	はい、ありがとうございます。審査会合のナンバリングについては、客観的、確定してないかいたします。
0:15:48	規制庁等、
0:15:50	他は大丈夫ですかね。
0:15:57	それでは、次の
0:16:00	次に参りたいと思います。ナンバー59について説明をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:06	はい。ナンバー59 について、原子力機構の新垣ですナンバー59 日に説明いたします。コメントなり、
0:16:14	内容としまして放射線の著しい漏えいの上、どのように考えるかということ、これを、
0:16:21	反映しましたのが資料 S D8-1 の P7 ページ。
0:16:26	パワポ資料の 7 ページ。
0:16:32	はい。7 ページのところでの回答のところ、の 2 段落目ですね、ただしのところからです。
0:16:39	ただしデブリ模擬体は、
0:16:41	不安、少量核燃料物質でありかつ電子の実力最大 200 ワット積算出力最大 3 キロワットアワパー値であり、
0:16:49	デブリ模擬体ちゅうのか。
0:16:51	核分裂生成物の蓄積及び放射線の放射極めて小さく、燃料使用挿入が直接手で取り扱うことができる。万一放射性物質が漏えいした場合においても棒状燃料の破損事故の評価、
0:17:03	3.1 の 10-40mSv に包含され、公衆に著しい被ばくを及ぼす恐れはないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:10	いうことで放射性の著しい漏えいについて、個数が極めて小さいということを追記いたしました。
0:17:16	あわせて、
0:17:18	資料、別なものでSD8-2の資料です。
0:17:24	こちらの補足資料1としております。P8年ですが、
0:17:28	こちらの、
0:17:30	第2段落目のところ
0:17:33	いただきたいのですが、こちらの密封性確認検査の
0:17:37	具体的な方法について説明した資料になっております。この中で、第2段落目、1ページになりますので、密封性確認検査では、定量飼料購入価の悩み、水が浸入しないこと。
0:17:49	及び、内部の放射性物質は漏えいしないこと。
0:17:52	これ燃料試料挿入管の構造上、中に水が入らなければ、逆にその逆で中から外に物が漏れることはない。
0:18:01	こういう記載をしております。
0:18:03	並びに水圧により燃料資料挿入管の変形等の異常が生じることなく、一部性が保持されていることを確認すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:10	なお、密封性喪失に係る変形等の異常については、燃料試料挿入管の内部に水が浸入しないことをもって確認することができる。
0:18:18	ということで前回、
0:18:21	なぜ変形等の異常な変形等の異常でどういうことを確認するのかというコメントがありましたが回答としましては、結果的にその燃料試料挿入が水圧によって変形が上がったり、
0:18:31	しますと、その長負担浅部分のところで、空隙、隙間ができてそこから内部、
0:18:37	放射性物が漏れる、水が浸入するということが考えられますので、
0:18:42	変形等の異常について異常を見る理由としてはその密封性の担保というところで、今回、設計の考え方の設定の考え方として反映しております。
0:18:52	はい。ナンバー質問管理表の 59 に関する回答は以上となります。
0:19:00	はい。規制庁、井上でございます。ただいまの説明に関しまして規制庁側から、
0:19:06	何かコメント等ございますでしょうか。
0:19:10	はい。
0:19:11	規制庁カネコ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:15	ですけど、
0:19:33	はい。
0:19:36	ええ。
0:19:38	著しい漏えいというその著しいはうまく報酬に対して過度の放射線被ばく。
0:19:44	いう、そういう、
0:19:47	主であるということで、棒状燃料の破損事故に包含されるという、そういう表現でしております。
0:19:55	そもそも、
0:19:56	漏えいしたとしても、著しい漏えいには、
0:19:59	当たらないという説明でございます。なので、
0:20:03	普通の指摘をですね、
0:20:05	J Aとしては、著しい大江というのは、
0:20:08	何だと考えているかということに対して、
0:20:12	今回の配当は、公衆に著しい被ばくを与えてるような形の事を出すんですね、そういう、そういうこと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:20	いいですかそうですね。その点を明確にするために、そうですね。この第2段落の最後、公衆に著しい四角の後に、括弧、1事故当たり5m S vと。
0:20:33	というふうな、うん。そういった定量的な、あの辺りを入れたいと思います。
0:20:38	古井ですけど、今の私の整理すると、イシイ、
0:20:45	若生清学校もので、50、
0:20:49	を与えるものっていうのが厳しいとか、そういうことです。
0:20:55	あって、
0:21:06	変形の話。
0:21:21	言い始め、
0:21:24	段落目に、
0:21:26	入ってございます。
0:21:28	はい。
0:21:29	正確に検査では電流というかなり楽にしない方と、
0:21:34	むしろ今回ふやすにおいては、そういうことなく、密封性が担保されることを含め、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:41	なお密封喪失に係る変形等の事情については、
0:21:45	燃料資料館の騒音人形資料導入管内部に水が浸入しないことをもって確認することができる。
0:21:51	ここでいう典型とは、
0:21:55	ふうに、
0:21:56	密封性を失うような研究である。
0:22:00	期待してもらおう。
0:22:13	10まで求めてなかったんですね、収集します。
0:22:20	わかりました。
0:22:25	はい。規制庁、稲村でございます。
0:22:27	他、規制庁側からでございますでしょう。
0:22:57	ものじゃない。
0:22:58	説明なのかなと思うんですけど。
0:23:01	現状向上辛抱上は、
0:23:09	原子力に対する燃料治療挿入管は、現有の棒状燃料等の新棒状燃料とも、どちらとも併用され、一緒に使われることがありますので書いてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:20	ちょっと水辺の高さが違うようなのは、このちょっと線で区切ってある ところで説明いただければと思います。
0:23:32	は、
0:23:36	と言っているだけではなくて、何かこの燃料との関係で何か、
0:23:42	原子力機構井田です。ちょっと細かい説明になってしまいますけれど も、燃料、フリーがどこまでかというのが、
0:23:51	棒状燃料の設計によって変わって参ります。
0:23:55	炉心の水位といいますのが、原油、ソノ、
0:23:59	燃料法の観点の有効長。
0:24:02	パターンです燃料棒のペレットが始まる場所から、
0:24:05	水、水を数えると、いうことになっておりまして、それに対して燃料試 料投入がそういうものがございませぬので、中の、
0:24:15	本当に下端から数えるということになっております。
0:24:18	従いまして、水がどこまで来るのかというのは実は燃料によって異な る。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:23	<p>ということになります。そして、考えられる 2 種類の棒状燃料どちらの水面を取ったとしても、燃料資料挿入管の上部断線のこの切り欠きの位置ですね、水が浸入し得る。</p>
0:24:36	<p>相川さんは府民より上にあるということをご説明する。</p>
0:24:45	<p>その水の高さよりも上部断層が上にありますってことを言いたいと。</p>
0:24:49	<p>はい、原子力機構、飯田です。おっしゃる通りです。新棒状燃料のほうはやや水面が高いところまで来ますけれども、それを考慮しても、燃料試料挿入管は、水が浸入するところに完成を行うということで、</p>
0:25:04	<p>原子力機構の宗です。そういう意味で、説明した内容をですね、この図のアクションですね、吹き出しの補足としてちょっと追記したいと思います。</p>
0:25:18	<p>具体的には、新棒状燃料が書いてある、右の方にですね、右上に 0.88、設置をしない人が高くなるという記載があるんですけども、</p>
0:25:30	<p>これが何を意図してるかという、左の見かけよりも高い位置にある、そこまでの説明ということになるという状況であれば、おっしゃる通り、ちょっと言葉足らずでございますが、切り欠きが、どちらにしても聞いたが、そういう絵にあるということなのかという</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:45	すいません。
0:25:51	規制庁、井上でございます。
0:25:53	府川は何かございますでしょうか。
0:25:57	成長しないですけども、
0:25:59	あとは、現状包丁燃料と新工場電力は同時には使用されないという、
0:26:06	2社協議台数、
0:26:10	それを縛るルールは設けておりませんので、資料、
0:26:15	存在することもある。
0:26:18	思います。その積極的混在させようとは思わない。
0:26:22	はい。原子力機構の宗です。はい。当初、900本の新棒状燃料がきちんと納入される時点では、
0:26:33	あまり燃料棒が混在するのはよろしくないと思ってたものですから、単独しようというふうに考えておりましたが、
0:26:40	ロシアの燃料移送の関係で、400個しか使えないっていうようなことも考えられまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:50	燃料の輸送については、今まだ全部、その 900 本全部持ってくるのか、その一部を持ってくるのかというのは、調整中ございまして、場合によっては、
0:27:02	900 の一部でもですね、輸送できないかということを探索しております。その場合に、
0:27:10	業者本プラス、新工場燃料の何本かが納入されることもございますので、
0:27:17	そのルールとしては、この
0:27:22	原油工場燃料の方が、
0:27:26	水のスタートとしては、低い位置にありますので、そこを起点として、140 センチ以内という水の制限、これをかけたいと思っております。
0:27:37	今ちょっと口頭で申し上げましたので、やはり、
0:27:40	この二つの水があるということが何を意図しているのか、それはその工場が混在する場合ということで、その点についても、補足ですね、アクション補足を追記いたします。
0:27:53	志賀ですけれども、それぞれの種類の原因の種類、管理推移が違うわけですけれども、辛抱増減量の方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:03	期間で入れるので、安全、
0:28:07	カバー、
0:28:11	原子力機構もそうですけど、デパート特にそういうことではございませ んで、その水位が違う。
0:28:17	この図で水が違ってるのは、神戸燃料の下が、その株観点の方が違うこ とに起因しているだけでございまして、
0:28:30	その上で、心房所、県棒状燃料の
0:28:37	拡散性が短い方、そこを起点としてそこから 140 センチとすることで、 当然、
0:28:46	この新棒状燃料の信奉上にいるだけであれば、
0:28:51	一番高い位置ですね、142.276 センチまでは入れられることができるん ですけれども、現有燃料と共存する場合には、141.468 センチまでしか 入れないという意味でございます。
0:29:10	安全側という、例えば 119 年、110 センチという意味で計算したとき に、新棒状燃料は水につかっていると。
0:29:20	旧 5 条、15 年度が少なく、
0:29:26	まあ、派遣側に計算することになる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:31	はい、原子力もそうです。そういう意味で、燃料の有効長の長さ、その対対の、
0:29:39	水面下にある燃料棒の有効長の長さとしては、新棒状燃料のほうが短くなる、そういうふうな意味では、はい。
0:29:48	安全側の評価というふうに見えますと思います。
0:29:55	すいません。
0:29:59	規制庁、島
0:30:01	天心
0:30:05	1 ページ。
0:30:10	燃料仕様書書導入下の内部に申請するあれはない。
0:30:15	うん。
0:30:18	要求自体は放射性物質分 1 号、つまり、
0:30:24	いうことで、
0:30:25	修正を、
0:30:31	もしこれ、
0:30:33	燃料資料挿入管に内部浸水した場合って何か、
0:30:38	すぐに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:40	うん。
0:30:42	うん。良くない。
0:30:44	情報になって、
0:30:51	基本的には水がないことにしているものですので、よくないことである ます年数。
0:30:57	まず、密封中に入ってる少量位。
0:31:01	核燃料を少量核燃料も、水に触れることを意図しているものではないで すし、あとは 100 ペイジーは、
0:31:11	水で、減速材として運転する原子炉で想定してないところに、減速材が 入っていく。
0:31:17	というのは、
0:31:19	どちらに聞くにしてよろしいことではございます
0:31:22	まずは入れない。
0:31:25	事業資料挿入管の設計としては著しい及ぼさないという
0:31:30	はい。
0:31:32	その他の理由でも、水はそこに入らない。
0:31:35	そして、原理的に入らないっていうんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:43	かなり補足いたしますと、
0:31:45	先ほどの2ページの、
0:31:48	通常の範囲では、
0:31:51	水が浸水しない。
0:31:54	高田というふうになっておりますので、水は入ったわけではない。
0:32:00	その時に、そのきっかけを超えて、水が入ると、
0:32:05	その空隙ですね、時間と燃料資料の逆に水が入ることになって、それは解析上考慮されていない、入ってはいけない人数となります。
0:32:17	これ解析してみればわかるわけですがけれども、そういった空隙に水が入る反応度。
0:32:25	それから、もうこれ、水位が上がってますので、
0:32:28	今度はその水位上昇による反応度効果があるわけですね。その空隙に水が入る。
0:32:36	よりも、水位の反応度が入る方が大きい場合もございますので、そこはちょっと解析に頼らなきゃいけないんですけども、いずれにしても、
0:32:47	入らないようにはしたいということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:50	それから、反応度的にはそうなんですけれども、ではその化け学的に、 これがその燃料事業層理かと水が反応して水素が出るとか、
0:33:02	そういったことは、ペレットにしておる、安定なものとして、しており ますので、そういったことは考えに考えられないと考えております。
0:33:11	ですので実験上、そういったことが起こるとですね、やはり、
0:33:16	原子炉の制御という点ではよろしくないんですけれども、それが直ちに 何か、その緊急性を持たなかったというところではない、通常の原子炉 停止、
0:33:28	行えば問題ないというふうに考えており、
0:33:36	規制庁井上。
0:33:38	よろしいお願いいたします制度次第ですけども、この最大圧力が、C S T二名。
0:33:49	開放的な側で、温度も 80 ぐらいまでしかないのでは何か、
0:33:55	d す。
0:33:56	現象としての反応で何か圧力が高まることはないんですけども、2 メー トルの高さの水がないので、内藤登坂様に、
0:34:06	出てしまったりとかそういう時にかかる圧力が最大。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:10	もし月、
0:34:12	中から出てくる場合と外から入る場合もあるけども、真ん中から出てくる方が増しするよりは小さいので、結果と、
0:34:20	野瀬浅井大学、
0:34:21	検討しなさいね。
0:34:23	違います。
0:34:25	原子力機構が今おっしゃっていただいた通りでございます。このマニュアル、藤さんと中野。
0:34:31	一応一番入れたところが最大のはずであるということで、今日、
0:34:40	うん。
0:34:46	いや、そこはいいと。
0:34:48	小黑さんから。
0:34:50	募集。
0:35:02	はい、規制庁、岩崎ほか溶炉し、
0:35:06	ね。
0:35:11	はい。それでは、6 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:13	60 万お願いできればお願いいたします。はい、原子力機構の新垣です。 質問管理表の 60 番についてですがこちらの固定方針に係る
0:35:23	大学も上手く示すことということで 5、
0:35:27	キャリブの最初の段階で、一部、
0:35:30	うまくしていなかったところは次回させていただきます。その他についてですが、資料 S D 8-1。
0:35:37	パワーポイント資料の、
0:35:39	まず、9 ページ。
0:35:44	9 ページですが、燃料資料挿入管の構造図ですね、前回、お示しした資料からの追加になっているんですが先ほど言った 145 センチ以上のところに切り欠きがあると。
0:35:58	いうところが構造図からは明確に読み取れなかったということで、ここは、
0:36:03	145 センチ以上、
0:36:05	であることを寸法検査とするということで構造図の補正をしたいと思います。
0:36:11	続きまして、11 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:15	11 ページにつきましては、
0:36:19	ボーリングの材質ですね、これフッ素ゴム。
0:36:22	ということで、これは
0:36:24	結構イージーテーション構造。
0:36:27	の方で、このように固定したいと思っております。
0:36:30	続きまして、
0:36:32	12 ページ。
0:36:34	12 ページですね、コンクリートの設計仕様で、この後、質問、
0:36:39	回答していきますが、コンクリートを追加することということがありま したのでここについて
0:36:45	補正申請書で、
0:36:46	コンクリートを使用材料に追加して、その標準的な水分率ですね、この ように追加いたします。
0:36:53	続きまして 13 ページです。13 ページは前回お示しした通りでありま す。
0:36:59	コンクリートの水分量の範囲ですね、まず構造図の方でコンクリートペ レット、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:05	を明記しまして、その水分率を 16 名と %以下というふうに、このよ うな記載をして補正したいと思っております。公文マークに関する回答 は以上となります。
0:37:19	ええ。
0:37:20	先ほどの添付とか補正、加えますというところはまた別途と。
0:37:26	いうところかと思えますけども、
0:37:29	このようにさせて本店に反映するようなところを示していただいと ころ。
0:37:34	ですけど、
0:37:36	このような対応についてコメント等ございますでしょうか。
0:37:41	ちょっと記載の考え方だけ、すいません。
0:37:46	10 ページの
0:37:48	P C を
0:37:51	工認の記載内容のイメージは、
0:37:56	設問じゃないから、
0:37:59	原子力機構の有賀です。はい。イメージ図はこのように記載したいと。
0:38:06	どう思う。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:09	随分、
0:38:10	10%、
0:38:12	92万。
0:38:14	もう、
0:38:15	これ、こういうふうに、
0:38:17	何が言いたいかというと、
0:38:19	障害検査やマナーの、
0:38:23	意見を考えると、
0:38:25	イメージはここに
0:38:29	フリー撮ろう成分率として、
0:38:32	16%でしたっけ。
0:38:38	南16%とかっていう、生まれるのかなというイメージがあったんですけど。
0:38:43	そういうことじゃなくて、その障害件数をイメージしても、水分率9%。
0:38:47	いうふうな記載をしていきますとそういうふうに思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:50	はい、原子力機構の有賀です。今のところその通りの理解なのですが、 例えばなんですけどその上の主要寸法のところで、
0:38:57	外観内径全長とかについてもこれもし、寸法検査とかで測りますが、こ れ標準値、ノミナル値を記載しております。で、このノミナル値に対し て、例えば 13 ページですね。
0:39:09	構造図の中で、プラマイ、
0:39:12	赤く先方に P R A マイクつけて、③と書いておりますので、具体的なそ の検査での判定基準になるのはこの構造図に記載するというふうに、設 工認申請書を通して整合させております。なるほど。
0:39:26	標準の、
0:39:28	それが記載し、
0:39:30	(3) については、13 ページのような構造、
0:39:37	ここである。
0:39:39	そういう、
0:39:40	はい。はい、わかりました。
0:39:46	はい。伊井市長。
0:39:48	その他、よろしいですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:53	では次いきまして、ナンバー61。
0:39:57	でございますけれども、ご説明をお願いいたします。はい、原子力機構の新垣です。No.61 につきまして質問内容としましては、定性的ではなく定量的な期待を資料、
0:40:10	することということで回答としましてまずS D8-1、P10 ページですね。
0:40:18	10 ページのところで、
0:40:21	ここで前回議論になりましたのはフッ素ゴムの対応人数ですね、口頭ではそういう文献があると言いましたがそこを具体的に記載しております。江田海藤所。
0:40:31	第3弾最第3弾、
0:40:35	刀禰の資料挿入管の開封頻度実験目的に応じて異なるが、長期間開封しない場合でも最大数年程度と想定される、フッ素ゴムの耐用年数は110度で、
0:40:45	110度の環境で30年以上という報告をされています。STACYの使用環境の問題とならないということで、STACYは第一段落目で書いております通り、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:56	使用環境として情報からは移行しよう今度 80 の間です。
0:41:00	その次に、基本は上なんですけど一部消防試験で 80 度になるということ で、この
0:41:06	こちらの東芝の
0:41:08	文献から引っ張ってきていますが、そのフッ素ゴムというものは、110 度 30 年等で S T A C Y の環境では、問題とならないということで定量的な
0:41:19	情報ですね、を設定いたしました。
0:41:30	規制庁、稲森でございます。
0:41:33	定量的に、
0:41:35	今説明しましょうねと。
0:41:38	さらに、定性的にあったものを定量的にしたところって何か、
0:41:43	ありますでしょうか。
0:41:49	はい。はい。資料。
0:41:51	すいません、資料 2、3 ヶ月ってことだ。
0:41:55	はい、そのたに直しました解析資料でございます。これちょっと後の 方。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:00	出てきてしまってますけれども、愛知標準偏差と言っておりましたところに、どのくらいの反応度変化であるかを、秋田。それから大きい
0:42:11	小さいと言っていたような、そうですね。
0:42:17	例えば、6 ページ。
0:42:18	資料 8-3 ページ。
0:42:26	中ほどの
0:42:30	はい。
0:42:31	書いてある上でございますが、その上の行が反応とか毎期標準偏差程度についての、具体的にどの程度のものであるか。
0:42:39	ということを書いてあります。或いは、河川が始まる前、こちらに関しましても反応度さに関してはもう、
0:42:49	1 回比べるのは、
0:42:51	9 とか 7 とかですね、デジタル値を入れまして、具体的な
0:42:58	打ちの差を記載する方針。
0:43:00	分けて、
0:43:07	意味です。
0:43:07	質問管理表の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:10	はい。
0:43:17	から、今、
0:43:20	小野寺。
0:43:25	はい。
0:43:26	すいません。ちょっと。
0:43:33	井上。
0:43:35	どのように。はい。していただければと思います。本件につきまして、 その他、
0:43:41	規制庁側からございます。
0:43:57	踏む
0:43:59	が、
0:44:00	失うような、機能的な劣化を、
0:44:04	どうかという
0:44:06	問題とならないというのは、これで風景を失うことはないです。
0:44:11	ということで、ちょっと言い方から、
0:44:15	問題とは何かということがわかるような機会としています。
0:44:23	ちょっと規制庁でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:26	溶炉しですかね。
0:44:33	はいそれでは次に行きたいと。
0:44:35	ナンバー62と63、ハウリング関係でございますのでまとめたの会長お願いいたします。はい、原子力機構の新垣です。62億13まとめた回答します。
0:44:49	62については、ボーリングの運用、交換指導、保安規定、または、
0:44:54	その歌舞伎で定める。
0:44:56	追記することで、63番については大井の予備品ですね、こちらの回答は、資料SD8-1パワーポイント資料の10ページ。
0:45:06	ページの回答のところの第2段落のところにもまず、
0:45:10	まず、また、ですね、このOリングは消耗品であるためあらかじめ必要量を確保しということで、予備品の確保を明確としております。
0:45:20	で、ジョブ単線交換の都度交換でここに*1を打っておりました。
0:45:25	ですがボーリングの交換頻度については、保安規定の下部規定で定めるということを反映しております。
0:45:31	回答以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:32	規制庁の井上でございます。コメント対応されてると言うことかと思 いますけれども、
0:45:38	この
0:45:39	やっぱり、
0:45:41	現状、
0:45:42	はい。最初の第1弾の必要量。
0:45:46	そうですね。ここは定量的にというような部分でもあるかと思うんで すけれども、
0:45:51	消耗品であるということで、55とか100とか、そこは保安上特に問題 とならないので、必要量とだけ記載しております。はい。以上です。
0:46:05	規制庁の井上でございます。ありがとうございます。
0:46:08	こちらは用意し、私が質問したことなんで、
0:46:14	あの前面をサポートタイプの前例を探しまして、そういう、
0:46:20	同じように、
0:46:28	いつまでは、
0:46:31	よろしいですかね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:35	それでは次いきましてNo.60 につきまして回答お願いいたします。はい。 議事録を依頼する。これは解析上、資料F T8-3 に関する、
0:46:48	解析に関する強度データをですね、前回お示ししたものではありません、本文中に入っていて、なかなかちょっと
0:46:59	場所作っています。参考データということで、
0:47:08	各グラフの中で、
0:47:13	中で、すべてではありませんけれども、
0:47:18	をいただいたデジタルチームの値について、ここに記載しております。 また表の中でですね、業務タイトルに
0:47:26	このデータの番、
0:47:29	ものか、いうものを、
0:47:32	書かせていただいております。
0:47:37	はい。
0:47:39	このような情報形式でデータを、
0:47:42	いただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:44	それから、ちょっとその管理の中ではご説明する場所がございませんのでこの場でご説明しますと、解析資料は、内容は変えておりませんが、中の並び替えを行いまして、
0:47:56	このパワーポイントの資料から呼び出されるということに、
0:48:02	並べました。はい。具体的には二つのトピックとして並べ、
0:48:07	まして、それぞれの中で、最後の 20 ページの保全方針、
0:48:14	次から 2 ページを
0:48:15	いただきますと、連携と保全法人と、
0:48:18	いうことで、
0:48:20	二つの点について、
0:48:22	具体的にどのような補正にするのかということを書いてございます。
0:48:29	タツモトはデブリ構造材みたいな予定が反応度を与える影響についてというのが 1 ページでいくと、それからレベルも炉心の核的制限値を満足できる見通しがあるということ、
0:48:41	3 ページ、4 ページ。
0:48:43	続きましてそれぞれ最後に設工認申請の補正方針というのを、波の削減をつけて書いており、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:50	パワーポイント資料、呼び出しがないトピックにつきましては参考ということでその後にまわしまして、必要があれば参照。
0:49:03	規制庁井上でございます。
0:49:06	えっと、このような対応です。
0:49:08	コメント回収ということでよろしいですかね。ええね。
0:49:14	あと、前々回ですね前回のヒアリングでちょっと時間の関係でですねこちら辺衛藤。
0:49:21	説明を聞けていないという状況でございますので、
0:49:26	後程もご説明していただいた方がいいのかなというふうに考えておりますけども、いかがでしょう。
0:49:32	はい。原子力イザワです。今おっしゃられたのは解析内容について、
0:49:36	世古、はい、承知いたしました。
0:49:43	どの方だけ教えてんだけど、今回は、
0:50:01	25 ページ。
0:50:17	はい。
0:50:22	写真は、図、
0:50:24	25 ページの下側の図でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:43	はい。行使価格は、グラフの中で書き分けてあるのと表の中では、公私間、
0:50:49	これほぼ失礼しました。
0:51:04	表の下の方に、
0:51:06	というのが書いてありますけれども、この 22 ページのグラフに書いてあるといたしますのは、
0:51:12	に書いてある B O D C O R A イシイ+の感情、
0:51:17	いう式で書いてございまして、そのパラメータを使うと、このグラフの、
0:51:45	はい。そういう意味で、この 8-2 の、
0:51:51	7 ページの表 3 の参考の 2 のフィッティング式のところ、ちょっとわかりづらいので、図中のピーティングしという、
0:52:16	規制庁、井上でございます。
0:52:19	が揺動し、
0:52:20	ね。
0:52:27	規制庁稲毛です。ナンバー次No.65 ですけど、65 は先ほど、
0:52:34	61 と。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:36	あわせてご説明をいただいたんだよ。
0:52:39	省略したいと思います。
0:52:47	はい。所長の井上でございます。それではコメント、
0:52:51	そして、対応関係というのは、
0:52:53	ご説明いただきまして、
0:52:56	次は前回、時間の関係で、
0:52:59	御説明。
0:53:01	聞けなかった。
0:53:03	ついて
0:53:04	順番に説明聞いていきたいと思います。
0:53:08	前回の、
0:53:10	ヒアリングで
0:53:12	ご説明いただいたのは、資料の 8 の一番いいところの、
0:53:19	11 ページまででした。
0:53:28	原子力機構の荒川です。前回のヒアリング時に 31 ページのボーリング
0:53:33	で 12 ページからが前回説明して、
0:53:37	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:38	12 ページ目以降、
0:53:41	コンクリートの、
0:53:44	核的制限、
0:53:47	日本、
0:53:48	ございますんで、それぞれについて説明を
0:53:51	お願いできればと思い、
0:53:58	はい。
0:54:00	技術、
0:54:02	はい。ではコンクリートの使用の方についてご説明させていただきます。コンクリートの設計仕様といたしまして、
0:54:14	水分率を追記するというところに、結論から、そういうことになりますけれども、冒頭の先東條、
0:54:29	が、
0:54:30	全部に構造材合議体の設計事業の代表コンクリートを上げることというのは、
0:54:35	9 番書いてありまして、そこから補足説明資料 2 ページ。
0:54:48	出させていただいたもの。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:50	この1ページ、
0:54:55	考えるかということが書いてございます。
0:54:59	はい。それではちょっと資料P8-3についてご説明させていただきますけれども、内容としては今までご説明していただく。
0:55:08	内容並べただけでございます。
0:55:12	会社間でお話します。2ポツの解析結果と全国一デブリ構造材合議体のコンクリートの補正が反応度に与える影響。
0:55:23	ということでございます。デブリ構造材を迎える、コンクリートの補正予算の時に反応度にどう影響を与えるかということでございまして、
0:55:33	まずコンクリート密度の感度解析01という計算をしております。
0:55:39	これに関しましては、すでにご説明差し上げた通り、コンクリートの密度を二倍から最大2倍から最小0.5倍まで振るという、パラメータを変えまして、
0:55:52	反応度がどのように影響するかと、いうことを計算いたします。
0:55:58	また、第2パラグラフのなお書きしております通り、密度全体コンクリート製全体のパラメータを変えるだけでなくコンクリートの主要成分であるケイ素カルシウムだけ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:11	変更するという感度解析も実施しております。
0:56:15	感度解析の結果というのが図 1、
0:56:21	5 ページ目。
0:56:26	ほかに。
0:56:27	いうのも書いてありますけれどもこれ密度 0 というと、快適じゃボイド 真空で、要するに何コンクリートがなくなってしまうと、物理的にはあ りえないんですけれども、
0:56:37	これについては、
0:56:40	解析の傾向を見るため、
0:56:43	計算して、
0:56:46	はい。それから、受
0:56:49	結論でございますけれども、中性子エネルギースペクトル、過剰減速防 止間隔 2.54 センチではですね、
0:56:57	西大寺 315 - 30 程度であって他のものに対して、大きな限られます。
0:57:03	それから、工事間隔 1.27 ページ、現職分、
0:57:07	1.50 センチ、
0:57:09	解析原則の炉心でございますは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:11	並べ方によって正の反応と、その反動があり、
0:57:20	これはコンクリートでフリー。
0:57:23	コンクリー等の振る舞いがですね、W A O Nポート統合では減速材として保護法では吸収材として働き、
0:57:31	それで傾向を見ました。
0:57:34	それから全体の成分を振るのではなくてK外カルシウムだけ変更した。
0:57:41	ページめくっていただきまして、
0:57:45	これは
0:57:47	ほぼ変化がなくなってしまうというのを、
0:57:53	三つの変更をしたこれに対して小さいと。
0:57:57	日本に対して小さいことが言われます。
0:58:01	従って、このコンクリートの密度を変えたときの影響というのは主要成分ではなくて、中央テーブル以外の水分由来するものであろうというのが、
0:58:12	推測を裏付けるために②の感度解析を行ったということでございます。 今度は随分だけを変えると。
0:58:21	解析を行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:24	はい。今岡L解析はやはり水分量が 0.5%、2000 から水が全くなくなってしまうというものに対して解析を行いまして、それに対する
0:58:36	東葛さん、
0:58:38	物産を見ていただきますと、
0:58:42	5 ページの図とほぼ同じ。
0:58:46	同じグラフ。
0:58:48	応答であるということで、
0:58:52	コンクリートの密度変化に対する反応度ない、要は水分っていう、
0:59:00	いうことで、審査会合で密度を見るか、不文見るかで、密度で見ても、 そういうことで見ても同じですというようなご回答差し上げておりましたけれども、
0:59:10	しかし、大井、
0:59:11	見ましても、これは古井君が支配的だということでしたら私どもとしては、やっぱり水分率の確保が一番素直である。
0:59:22	考えます。
0:59:23	その考えが、2 ページ目の説明、申請書の補正方針というところを書いておりましたけれども、日曜日の結果で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:30	コンクリートの成分が反応量影響というのは、水分によるものであると いうことを確認いたしましたので、
0:59:41	別個に指示書の第 1 ページのデブリ構造材本体コンクリートの設計仕様 に水分に設置する。それとともに、コンクリートデブリ模擬体の製作に あたっては、
0:59:51	本解析で確認した範囲におさまるように、
0:59:55	水分率について最大 16%の制限を設けて製作する方針として、設工認申 請書第 1 編実験後本文構造図にコンクリートの水分の上限値を追記す る。
1:00:06	ということで、これがパワーポイント資料ですね。
1:00:12	11 ページ、13 ページ。
1:00:16	いただきましたけれども、
1:00:18	パワーポイント資料の 12 ページの方に、標準組成とした、水分率を書 きまして、
1:00:23	13 ページの方に、上限値ということで、
1:00:28	設計仕様を記載するという風にしたいと考えております。
1:00:32	10 ページ、13 ページと、補足説明資料については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:41	辻村でございます。
1:00:43	ただいまの説明に、
1:00:45	つきまして規制庁があったら、
1:00:48	ずっとございますでしょうか。
1:01:00	何。
1:01:02	むしろ、
1:01:04	5 ページ。
1:01:16	結果的には水分量が支配的だ。
1:01:29	なにがへ。
1:01:32	何か空隙になって、
1:01:36	イメージしていただく。
1:01:37	この資料の 38 ページ。
1:01:41	ページ。
1:01:52	はい、ありがとうございます。はい。この 38 ページが密度を変化させたものでございまして、まず、
1:01:58	一番上にある標準補正というのがですね、普通の、
1:02:03	標準コンクリート、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:05	うん。ここには、どの元素が1立方センチメートル当たり何個入っているかということが書いてございます。はい。密度0.5倍といたしますのは、これらをすべて2で割って、
1:02:18	存在率半分に減らす。要するにコンクリートが半分になる。
1:02:24	なるほど。
1:02:26	2.0倍というのはすべて倍にいたしまして、コンクリートが倍の重さになって、具体的にそういうものはなかなかつくれなないかもしれませんが、
1:02:40	計算するという
1:02:42	ことを行って、
1:02:44	原子力ですね、そういう意味でコンクリートがすかすかなんかぎゅつと詰まってるから、まずそれを想定したというイメージですね、絶対二つ下の少し下の間には何が空隙ができればポイントですね、空気とい
1:03:01	はい。真空心は真空を移動。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:10	結局、水分が支配的ですよという話。なるほど。水分量の辺のところ見えますね。なるほど。はい。水分量の変化はそれぞれ 99 ページでございます。まして、これは
1:03:23	1 と以外の
1:03:25	組成が同じであるという、なるほど、比べていただければ。はい。
1:03:32	今まで 1 はすべてぐらいで一応すべてでして 5 は、参加している者を参加させてる大戸水素について、
1:03:41	うん。ありますけれども、1 と、それから 1 にくっついている方だけを変化させたのが水分。
1:03:49	わかりました。ありがとうございます。大変この参考データを見せていただいて、意味でちょっと、
1:04:03	おはようございます。
1:04:06	コンクリートの、
1:04:07	水道関係はよろしいですね。
1:04:23	はい。
1:04:25	理事安全教授、瀧瀧湯浅されている、いわゆるのコンクリートを含み作ったところぐらいという。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:34	ものがございます。これが表、設計の、
1:04:39	標準仕様って書かせていただきます。それから今回の解析で確認した範囲でございますね。今回の解析で確認した範囲が 16%でございますので、私どもはこの 16%を超えることはない。
1:04:56	粒子を記載するというところで 13 ページに、成長率 16%以下。
1:05:02	再度追加したいと思います。
1:05:15	はい、おっしゃる等、
1:05:16	9、
1:05:17	が標準だけれども、具体的にそれをどう確認するかというと 16 件と。
1:05:26	原子力基本、
1:05:28	12 ページは、これ設計仕様の目標とするばかりでございますけれども、先ほどの新垣からの説明もあった通り、例えば、中央寸法の全長 1501 というのも、それを表示するかというふうにも、
1:05:44	一つには、この 13 ページの製作公差を含めて、この範囲内にあるというを確認するわけです。
1:05:53	これ、コンクリートの水分率についても、
1:05:58	このハンドブックにある標準で、大体作られるって、けれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:05	実際作った時には、多少黄砂が出てきますので、
1:06:09	その黄砂の約束として、今回変えてきた 16、11%を上限にして、その範囲内で作られていれば、解析による、
1:06:19	の中の話なので、問題ないと、というような、設計仕様と、製作公差の違いということで記載してください。
1:06:37	講座を含めたもの。
1:06:40	整理なんですか。
1:06:44	はい。はい。
1:06:47	はい。こういうものです。
1:06:50	これは別に、この表だけではなくて、他の制作物ですね、設計仕様、スペックの話と、
1:06:58	それから保存での、
1:07:02	考え方は同じでござい。
1:07:07	資料 9 が、あまり意味がないんじゃないかなと。
1:07:14	はい。編集局、
1:07:17	急であることを確認するという行為は行いません。
1:07:22	そういう意味で、この設計仕様、12 ページの設計仕様の表には、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:29	やはり何らかのその設計のねらいとするような数値を書かなければいけないかというふうに考えておりました、
1:07:39	旭さんで、その根拠として、臨界安全ハンドブックの標準補正っていうのが注記してございます。
1:07:47	そういう意味で16%以下というふうにここで書いてもいいんですけども、
1:07:53	そうすると、16.1%。
1:07:57	が、今度は製作するねらいなのかというと、
1:08:02	それは表情ではないという、
1:08:05	考えですので、やはりここ標準臨界安全ハンドブックの標準組成という、
1:08:11	数値の
1:08:12	根拠として、記載したという内容でございます。
1:08:31	はい、そうしましょうよ。それをJAの人は考えながら、はい。
1:08:40	規制庁井上君。
1:08:41	他、よろしいですか。はい。これが規制としてたんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:46	鳥羽水分率が9%の場合、16%の方が十分に小さいことを確認した上で、残りの、この後から出てくる解析は確か9%で、
1:08:57	行ったと思うんですけども、その事實は、
1:09:00	参与、
1:09:06	女性が90%あるというところまで、
1:09:11	はい。はい。
1:09:13	配布したい。
1:09:24	名。
1:09:25	コンクリートを基本とすると。
1:09:29	ページ目の分の感度解析の中で、
1:09:33	水分量は普通コンクリートが基本である。
1:09:37	書いてございます。
1:09:44	計算に使ってるのが基本グッドです。
1:09:47	従って、
1:09:55	原子力でしょ。
1:09:59	やっているというと、北井。
1:10:07	ございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:09	よろしいですね。
1:10:17	うん。
1:10:19	うん。いえ参りたいと思います。
1:10:23	価格制限値のお話ですけれども、
1:10:26	こちらの説明をお願い
1:10:43	は様々な炉心創生を組み合わせるがそれらが核的制限値を満たしてるか です。
1:10:50	コンピューターに水分が含まれていた場合の計算結果の不確かさについ てです。
1:10:58	まず、
1:10:59	は含まれておりまして、3 ページ目を見ていただきます。
1:11:07	14 ページ、回答、事例解析では随分、
1:11:13	標準的なポンプの中に水分を書いています。
1:11:16	それから解析では玉野と進行性の組み合わせに対して密度という部分。
1:11:21	パラメータとして書いています。
1:11:27	詳細については補足説明資料で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:30	その結果を第5、新規の添付書類として追加すると書いてございますけれども、
1:11:40	本多さん。
1:11:44	明神が発生して、
1:11:54	π 不満で、
1:11:57	④
1:12:00	科学的定義書もある。
1:12:02	栗田。
1:12:04	安全盤、原子炉停止効果に与える影響、
1:12:09	コンクリートの密度と水分が炉心の重要な核的制限である減少接種等は ロードスタッフバージョン、階段濃度反応度ナンバーの1枚が、
1:12:21	入らなかった、そういうふうになった時の、今回、及ぼす影響評価のため、
1:12:27	コンクリートの密度及び水流量を変化させた炉心に対して、安全盤を挿入した炉心の反応度さを解析いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:39	この時安全盤の挿入位置はすべてのケースで真鍮を含むといったところで、安全盤投入する医療所等の交流は、工認添付経産省と同様としております。
1:12:52	ということで安全盤を導入したものが、4号でございます。8ページ。
1:13:13	3000万の方に道がちょっとピッて。
1:13:17	わかりやすいのが、工事関係、2.54センチ、
1:13:26	から、
1:13:28	必ず、
1:13:31	そこからもう1枚判断したところに、安全祭りが始まりまして、
1:13:36	安全面を入れるフリート方式、こちらの講師版にも、このように4ヶ所あります。
1:13:44	そして講師、このWorldスタッフの評価に関しましては、安全盤を1枚受け入れるということで、中央付近の、
1:13:54	使いましたというのができることで、
1:14:04	それじゃあ、原子炉停止効果に及ぼす影響評価ということで8ページ、9ページにありますけれども、密度と、水分量、それぞれに対して安全番地入れたときの評価でございます。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:19	間違って、
1:14:24	だから、
1:14:27	安全番 4 枚。
1:14:30	ここでは、メンバーの多田さんに確認。
1:14:33	岡弓野仲川。
1:14:39	何でも 1 枚。
1:14:44	あと、
1:14:45	あとさ、そこは条件をすごい。はい。あと、
1:14:49	ちょっと違います。了解いたします。
1:14:55	はい、というわけでこれすべて同条件で安全版を 1 枚入れたと。
1:15:03	答案全般の評価が入りまして、
1:15:07	後のページ、実効増倍率が下がる。
1:15:11	このとき、
1:15:13	余震のみ
1:15:14	コンクリートだね。
1:15:16	それと、
1:15:18	変えたとき、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:19	その効果が弱まるのか、強まるのか。
1:15:22	ことをしたのが、4、
1:15:26	ちょっとわかりにくい。要するに、
1:15:29	人が変わったり、水分が変わったりしたときに、安全盤の方から変わるのかどうか。
1:15:40	これが、
1:15:42	図の下側に、
1:15:44	技術的な人が
1:15:47	0 でございます、
1:15:48	密度を変えたとき、水分を変えたときに、図の下側に行けば安全盤の効果がより高まった、安全側ですね、安全がより聞くようになった。
1:16:00	図の上の方に触れますと、安全盤の効きが悪くなったという、
1:16:06	評価の結果ですね、店長は見られませんかと言っておりますけれども、その上の方に、
1:16:13	いった効果というのが最大でも、これはちょっとデジタル値というコメントいただきましたけども、見かけるというのはマイナス3乗出るだけ4番ですね、エラーバー見ていただきますとそれに対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:27	標準ユーザーデータということで、モンテカルロ計算に依頼する統計も そういう説明できる範囲であって、密度や水分量が2倍変化させたとし ても安全盤の原子炉停止評価に与える影響は小さいと。
1:16:42	いうことを確認しております。
1:16:46	それではですね、
1:16:49	それではねブリーフ構造材問題があって、例えば1枚密度が変化した と。
1:16:56	効果は見たんですけれども、では問題を炉心実際入れたときに、どうい う
1:17:02	効果があって、
1:17:04	核的制限値を満足する、
1:17:07	ことが確認できるのかというのが、⑤評価でありまして、
1:17:13	明治の提示の安藤です。松丸の評価を行っておりますデブリ構造材本体 は、最大本数70本近い69本、加えて、変化傾向を見るために15評価 した。
1:17:25	25本というのは私どものオリジナルの真剣に入った。
1:17:30	それから、ここでは安全マンの入れ方を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:34	まして防止間隔 1.271012.50 センチでは、全挿入時には 1 ファンドスタ ッフ 11 枚というのが、10 ページ目の 1 の、
1:17:46	それから、投資額 2.5 では炉心が大きくなっておりますので、安全場を ふやしまして、メール挿入時 4 番、5 番信田久慈さんということにしてお ります。
1:18:00	はい。
1:18:04	このようにして計算。白木 9 月 7 と 8 でございます。ただ、17 と 8 は ですね、
1:18:11	問題本数を入れていくと、ワールドスタックマージン図柄についてはわ ざと作⑱については、減少、
1:18:20	変化していく。
1:18:23	ありますので、
1:18:25	これらをすべてまとめた部分ですね、17 ページ。
1:18:38	これらの効果を、
1:18:40	みますとまずですね、図七、八、九を、
1:18:44	ご覧いただきますと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:47	まず、コンクリートのデブリ構造材問題を挿入したろ紙よりも、鉄のデブリ構造材を挿入した炉心の方ですね。
1:18:58	ええ。
1:19:00	安全盤の効きが悪くなるという傾向が全体として見られます。これは、11 ページ 12 ページ、13 ページ。
1:19:11	めくっていただきますと、
1:19:14	ねぐらふう鉄の方ですね、中性子実効増倍率が細井については上がっている。
1:19:22	野上。それだと思います。そういうことを述べており、
1:19:26	これはコンクリートよりも鉄の方が中性子を吸収する効果がありますので、
1:19:32	安全盤が中性子を吸収する効果がそれによって競合されて、
1:19:39	割り引かれてしまう、ということであろうと考えております。
1:19:44	はい。そしてすべてのデータをまとめた 17 ページでございますと、17 ページの上の方がファンドスタッフ
1:19:53	の方が、
1:19:55	ね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:56	横1線に、破線が赤では線が引いておりますけれどもこれが制限値ですね、ここを超えてはいけないと、
1:20:04	結果でございます。
1:20:06	ここの件を上を超えてしまったら、
1:20:10	いうことでただし、このように全体を評価いたしまして適切に安全盤を配置することによって、
1:20:17	デブリ構造材の清水及び挿入法のすべての体系で制限値を確保
1:20:22	満足することができる表示が出られております。
1:20:27	従前人口の場合にはですね、下の原子炉で時運が大きいものすべてを囲った臼田大井。
1:20:37	佐瀬みたいなことが書いてあります
1:20:39	この範囲は、原子炉停止というのが、ばらつきは大きいんですけども、
1:20:45	どっちが制限値、赤い線、
1:20:48	赤い破線に近づいてしまうか、いうと、上の方の図でありまして、
1:20:53	このデータの理解でありますけれども、安全まで挿入では一番近づいた時は開けて、安東スタッフの上の方の、だから×10-30まで近づいて、
1:21:03	では信田の方が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:05	厳しい結果であるということが挙げられております。
1:21:10	上の方に、斉田伊井という二つマルつけておりますけれども、
1:21:16	すべての燃料を考慮した場合は、鉄路みたいですね、鉄の方はやっぱり 割り引かれる方が安全盤の方が弱くなるということで、鉄を最大まで入 れて格子間隔を、
1:21:28	大きくした、炉心というのが、
1:21:31	一番厳しい、フィック替えられており、
1:21:35	ただしそれと、今回、私ども、燃料原因は 400 本しか持っておりませ ん。400 というのが、縦でグラフを区切っている赤の実線。
1:21:46	これを超えない範囲ですと、最大と書いてありますのが格子間隔 1.55、 第 69 号、2、
1:21:55	はい。
1:21:57	ただ、これはですね、野呂神野沖田の変化等も関係あると思えますけれ ども、参考として基本方針、これはテキスト化コンクリートが入れない 炉心ですね、この評価も、
1:22:09	黒で示しておりますけれども、
1:22:12	ほとんどそれと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:15	違いはない、これ1標準Lか程度と前回の資料で書きましたけれども今回デジタル値に書いてありますと、
1:22:21	6ヶ月というのが40億程度ですね、これはエラーバー日本と同じ程度。
1:22:28	ほとんどベアワーキングとめがけつきませんけれど、この日にもエラーバー書いてあります。
1:22:32	それと同じ程度であり、ほとんど違いは見られない。
1:22:37	ことごとございます。従って、
1:22:40	まずですね、
1:22:43	すべての状態において核的制限値を満足できる見通しがえられた。
1:22:49	と、最も厳しい人ということ。
1:22:52	条件で推定をしたが、基本の浸透あまり変わらないと。
1:22:58	解析上こういう
1:23:00	とらえられて、
1:23:02	施行に休憩所の補正方針といたしましては、これらの解析を伝えまして、これは計算等もそうなんですけれども実験にあたってはギロチンである基本、
1:23:13	商品フォームめぐり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:16	構造材どちらを導入するかという、その解釈からしたら、鉄を使うのが妥当である。
1:23:27	確定することを確認して、
1:23:30	そしてデブリ構造全部たり、解析がちゃんと合うということを確認しましたら、
1:23:38	解析上実測値を差し上げつい徐々にポンプをふやしていきたい。
1:23:44	今、見通しを示す解析結果を、
1:23:49	第 2、
1:23:50	デブリの方針、
1:24:00	院長、坂。
1:24:06	ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明に関して、
1:24:12	規制庁側からコメント等ございますでしょうか。
1:24:18	17 ページ、69 を、
1:24:27	この
1:24:28	資料 8-4 ページ。
1:24:41	まさに、
1:24:42	新しい予定を構成する際に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:45	方針というのがあって、一番一番スタート支援側許可の監視をして、各 セクターでこのそれぞれの楕円の部分を、
1:24:54	順番に取って行って、炉心の中に入れられるものを作って、
1:25:00	例えばこのラインの
1:25:02	うちの一つを、今回移設こういふことをすると、上の図を作った目的と してはその楕円のうち、外側地震鳥羽伴一番。
1:25:13	ぎりぎりの、
1:25:15	ところの炉心を見つけ出して、それ以外の炉心は、それと同等か古いの が前提があるので、
1:25:25	まあ、全体として、
1:25:28	安全性を確保するっていうことを、
1:25:32	説明したことになると、そういう後、
1:25:38	はい。原子力機構の伊賀です。おっしゃる通り、このように解析するこ とによって核的制限値がもっと、
1:25:44	厳しい条件でも満足できる
1:25:46	他に含むの支援に関しましても、
1:25:50	この手順を踏むことによって、核的制限値を満足でき、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:58	正当しないけども、
1:26:00	そういうふうにグラフでそういうことを言ったかったのかなって予想した。
1:26:11	こっちが予想しては駄目で何か、それ、そこが何か、
1:26:16	文章として、
1:26:18	これは以降、
1:26:21	なんか、
1:26:23	小さい思いつき。
1:26:25	個人的な見解を持っただけじゃないっていう話。
1:26:34	今、口頭で申しあげましたことを、
1:26:42	関係上共通です。はい。そういう意味では 17 ページの図
1:26:47	だ、結果、何がいえるのかということで、この七、八十、
1:26:52	4 ページのところではほとんど違いが見られないというのが終わってるんですけども、だから、ということで、そのあとの部分を続けるということで、
1:27:05	規制として、
1:27:06	そうすると、この中で、この一番厳しい方針として選定したものが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:12	本当に、
1:27:13	一番厳しいところ、
1:27:15	端々ているですかという
1:27:18	のが一つ。
1:27:25	ちなみにパラメーターとしてサーベイした範囲としては、
1:27:28	19、
1:27:31	一番後ろの8の切れて、
1:27:34	規制庁、今までございますけども、ここ、
1:27:38	今回の設工認のお話の前にですね、18ページにあるような、まず考え方の説明聞いてそ、その上で、
1:27:50	多分今回のセッションでは、どういうふうにする。
1:27:54	その考え方を提供してどう、どうしてきましたよって、多分そういった説明の方が。なるほど。はい。
1:28:00	桑原も理解しやすいかと思えますけども。
1:28:04	そういった時をした後に行ってた、いただきます。
1:28:08	今回の設工認ではどうなのかというところを聞きません。
1:28:14	はい。現状でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:25	笹尾。
1:28:34	現状、その上でもですね、この資料として完結させる意味があることから、先ほどの 8、
1:28:45	H8-3-4 ページの
1:28:48	には、
1:29:06	ありますか。
1:29:13	規制庁の三野でございます。まず、それでは 18 ページの F A X 担保とか、考え方をまず調整、ご説明いただいて、
1:29:24	わかりやすいかと思しますので、そちらの説明をお願いいたします。
1:29:34	7 ページ、17 ページ。
1:29:40	聞いてます。
1:29:43	イシイ。
1:29:45	はい、石井ですけども、聞こえてますか。はい。技術部である。
1:29:55	はい
1:29:57	パワーポイントの 17 ページ、核的制限値の担保について補足説明資料 3 に説明させていただきます。補足説明資料 3、
1:30:08	現地高野医師ですけども、補足説明資料の 3、見ていただいて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:12	核的制限値の担保についてということで、まず冒頭、
1:30:18	基本的考え方を示しております。臨界実験装置というのは原子炉等施設。 工。
1:30:24	そうすると規制法の施行令において、
1:30:27	炉心構造を容易変更することができる原子炉であって流下医療等の核特性を測定するようにもっぱら供するものということで定義されておると、いうことをまず書いております。
1:30:38	あと二つ目の文、またのところには旧原子力安全委員会の安全評価指針の中で、どのように書かれているかというところで、
1:30:49	菅臨界実験装置は多種多様の
1:30:53	燃料と実験資料が使用され、一部反応度フィードバックが性になることもあるということで、安全確保上運転管理に合うところが大きいというところが評価指針の中でも、
1:31:05	述べられております。
1:31:08	最後従って臨界実験装置の安全評価にあたっては、これらの認可実験装置の特徴を踏まえて、踏まえる必要があるというのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:19	形状等基礎規制法の施行令や判例評価指針で基本的考え方が述べられているところになります。
1:31:27	こういった基本的考え方を踏まえて設工認段階以降でどのように臨界実験装置の核的制限値が担保されるのかというのを具体的に述べたものが両括弧 1 から両括弧 4。
1:31:41	になっております。
1:31:43	まず、1 ページ目の (1) 、下半分のところですが、設工認等を使用前事業者検査における核的制限値を満足見通しの確認と、
1:31:53	いうところで、原子炉設置許可申請書の研究所の館添付書類 10 で炉心核特性機の範囲について許可を受けておりますが、
1:32:04	この設工認申請書における炉心パラメータの可変範囲から、炉心と各特性値を厳しくする傾向にある、炉心、
1:32:14	構成領域を解析によりパンクして、その中から核的に代表的と入れれる炉心条件を定めると。
1:32:22	いうところで先ほど伊澤が説明した、次のページの 11 のところですね、ラッシュ炉心核特性値の変化範囲と変化管理の把握と大田展開方針の選定の例。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:35	のところでこのような把握をまずするというところになります。
1:32:40	その後ですね、次の1ページの図、なおかつ、のところになりますがその年には今後の実験において、検証が必要となる実験用装荷物、具体的には今回の設工認では、
1:32:53	デブリ構造材みたい鉄やコンクリートになりますけども、こういったものを含むことから、初回に構成する炉心ではそれらの少数方も装荷した炉心、
1:33:04	まずは69本を入れるのではなくて1本ずつから入れていって徐々に
1:33:12	まず一本で入れて、核的制限値の範囲範囲にあることを確認して、その後徐々に実験範囲を拡大していくというものになります。
1:33:23	当然物品範囲を拡大していく際には事前解説を実測値を比較検証しながら、安全性を確保した状態で実験範囲を拡大するというものになっております。
1:33:36	それが先ほど説明した図2の許可の縁があってですね施工人の中では、ラインのものがあって中心部からだんだん外側に実験範囲をかけられていと。
1:33:50	2ページのイメージ、イメージになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:55	次、続いて3ページになりますがその事前解析等を実測中企画検証室と いうのが具体的にどのような地域が含まれるのかと。
1:34:07	いうのを示したものが3ページになります。
1:34:10	具体的にはこれを管理規定を遵守して
1:34:15	その承認プロセスを踏んでいくわけになりますが3ページの両括弧2で すが、
1:34:20	炉心の配置替えに伴う炉心核特性の算定やその結果の承認に関する手順 としては、保安規定とその下部要領、具体的には我々原子炉施設の運転 手引き等、
1:34:32	いうものを定めておりますが、こういった中で炉心厚生省と炉心証明 書、この二つを作成して、
1:34:39	原子炉主任技術者等の確認を行うというふうになっております。この主 任者等というのは場合、必要に応じて所長や部長の確認を行って承認を いただくという手順を読むことになります。
1:34:56	なお書きのところに進行性初等炉心証明書の違いを少し付則で書いてお ります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:03	炉心構成書というのは炉心に装荷する燃料、実験装荷物の種類、位相角やような範囲、それらの組み合わせ、
1:35:12	すなわち、個別に障害児受けた規格品の配置換え、こういったもので炉心構成を行うというものになってます。
1:35:21	あらかじめ解析により構成する炉心が原子炉設置許可を受けた新核特性の範囲におさまる見通しを記載するというのが炉心構成書の中身になってございます。
1:35:33	炉心方のところにありますが続いて炉心証明書、今度は構成に基づいて具体的な炉心会長を決めるわけですが、
1:35:43	それが炉心証明書で炉心構成範囲の中で、初回炉心配置パターンと、その核特性の解析を求め原子炉を運転して、
1:35:54	各特性値を実測し、核的制限値を満足することを確認するというところでこちらが事前解析とあと、実際に運営をして検証するというふうになります。
1:36:08	具体的な炉心構成書と炉心証明書については4ページ5ページに図3、4というふうに示してございます。
1:36:19	4ページにまず示しておりますのが半分が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:24	原子炉施設の保安規定で炉心構成書という条文がございます、こちらはすでにS T A C Yの運転再開に先立って認可を受けた、いただいた認可を受けた内容になってございます。
1:36:38	下半分、運転手引き具体的な様式がもう定めておりまして、S T A C Y炉心厚生所と、
1:36:47	ということで進行性の条件、格子盤を何に使うだとか棒状燃料をどの範囲で本数を使うとか、濃縮度、
1:36:55	そういったものを使う、あと、実験予想貨物何に使うだとか、そういった場合の反応度を事前に解析して、
1:37:06	解析するというものになっております。
1:37:09	こちらは
1:37:12	部長が作成して所長が承認、当然所長が承認する前に炉主任が同意するというプロセスになってございます。
1:37:23	続いて5ページが炉心証明書、こちらも同様な構成になっておりますが
1:37:29	まず、上に保安規定の該当条文を記載してございます。下に運転手引きの様式等を記載しておりましてこちらは炉心構成書で

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:42	範囲を定めて、具体的に炉心配置をどのようにするのかというところで炉心構成等を具体的にし、示したものになります。
1:37:52	5 ページの一番右下のところをちょっと見ていただくとですね、まず、運転を行う前に、部長の承認を行う。
1:38:02	いただきます。委員会建設を行うことを承認すると。
1:38:06	ということで、まず承認をして、運転を行います。で運転を行って
1:38:13	実際にワンロッドスタックだとかそういった核的制限値を満足することを確認したら、吉炉心として運転することを承認するというので再度炉主任の確認と臨海副部長の
1:38:26	承認を受けるということで事前解析と運転後の研修を行うというプロセスになってございます。
1:38:37	続いて 6 ページにつきまして原子炉の運転時の核的制限値の遵守方法というところで、これまでは運転に先立って確認することを、
1:38:49	を述べてきましたけれども、(3) では、原子、実際の原子炉運転にあたってですね核的制限値をどのように担保するのかというところを書いてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:00	具体的には、起動前点検と運転中の設定値の調整というところで、①から③まで手順がございます。
1:39:11	①に書いてございますのが、過剰反応ローカル炉心タンクの水位制限と、
1:39:17	いうところで臨界実験装置では段階的に給水するというところで給水でスイッチを段階的に上げていって、
1:39:28	給水して反応度を加えていくという手順になりますのでこの過剰半分わかるシンプルの審議成立。
1:39:37	ということで、あと②反応度添加率に係る対上昇速度の制限ということで、
1:39:45	給水ポンプの流量制限、1分間当たり4、1秒間あたりに水位上昇速度を制限して、反応度を制限するというものになってございます。
1:39:56	③が原子炉で収束あるものでして、安全盤の位置と挿入性。
1:40:03	まず、起動前点検で、安全盤の1とか挿入確認を行うようになっております。こういった①から③の確認を行って段階的な炉心タンクへの給水により、予想臨界水を取り止めつつ、
1:40:20	臨界近接操作を行うと、まだ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:25	臨界実験装置の運転手順になっておりまして、これらの手順の詳細については不安定の下部規定である部分的に定めております。
1:40:37	あと7ページ。
1:40:40	行きますして、
1:40:43	臨界実験装置につきましては最初の製造原価で、一番厳しい炉心で性能検査をすることができないということがございましてその後、実験段階で徐々に厳しい側の炉心に向かっていると。
1:40:59	性質がございましてそれを事業者でどのように安全を確保していくのかというのが説明したのがよかったようになります。
1:41:08	具体的にはこれまで説明したよう(1)から(3)の基準が正しく行われているということを、支援事業者検査等を定期事業者検査、
1:41:19	原子力機構の中、原科研の中でも独立したケース組織がありますのでこちらの独立検査組織、
1:41:28	品質マネジメントシステム検査というものがございまして、その中で確認するというものになっております。
1:41:38	米印で書いたのが業績、冒頭に説明申し上げた通り臨界実験装置の安全確保上運転管理というところが大きいというところを踏まえて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:50	従前から保安規定と運転手引きに基づいて原子炉の運転に必要な力量を持った運転要員により、事前解析と所有側線、書類作成がなされ、
1:42:01	それらが所長や委員会報道部長の承認、並びに主任者の監督承認時の同意することによって、施設の安全性が確保されていると。
1:42:12	ということで、あと下の四角の枠に示したものが使用前事業者検査、炉心性能検査に係る品質品質マネジメントシステム検査の例と。
1:42:22	ということで具体的にどういうことを確認するかということが書かれてございます。
1:42:28	①に書いてあるのが品質マネジメント活動の実施、管理組織ということで運転員の作業や、検査一般必要な時に、力量の
1:42:39	力量がちゃんとあるかということの確認で②として不安活動の計画、必要な容量を移転手引き、炉心厚生省炉心証明書は、こういったものが作成され、
1:42:52	適切に実施されているかということを確認するというものになっております。
1:42:57	③保安活動の実施ということで、作成した計画に従って漏れなく実施されていることということで、保安規定の手順兼手引きの手順に従って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:09	漏れなく保安活動が実施されているということを確認するのが③本活動の実施内容になってございます。
1:43:17	④、保安活動の評価として炉心、作成した炉心厚生省炉心証明書。
1:43:24	の承認プロセスしか確実に遂行されていることで、炉心証明書にあっては、実際に運転を行って核的制限値が満足されていることを確認する。
1:43:37	そういったものが評価されているということを確認するのが保安活動の総括。
1:43:42	こういった一連の活動を臨海1課我々運転を担当して臨界かだけではなくて、
1:43:50	独立検査組織、伊井さん炉主任の確認も踏まえて、第三者の視点を入れて
1:43:59	しっかり確認して、安全を確保した状態で、
1:44:03	実験範囲を拡大していくというものの説明が7ページになります。
1:44:10	8ページに作業を示しておりますのが、しまい事業者検査における受検方針というところで、先ほど伊澤からも少しありましたけれども臨界実験装置、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:22	計算書には代表炉心ということで、こういったものが厳しい炉心なのか というところをお示ししておりますがその代表炉心厳しいところで、
1:44:33	障害事業者検査を
1:44:35	支援することは難しいというか、徐々に実験範囲を拡大していくとい う、臨界実験装置の思想としてはまず安全側のところから始めると。
1:44:46	いうところがありますので、先ほどデブリ構造材みたい結束コンクリー トがありますけども、鉄の方が
1:44:55	少し厳しい炉心になるということで、まず、デブリ五味炉心の受検方針 としましては、
1:45:02	講師坂講師感覚 1.5 センチ、これ最適感覚で、
1:45:07	全部どったところが比較的厳しくなるというところで、1.5 センチ、
1:45:13	あと 50 燃料は基本炉心、
1:45:16	の 261 本でそのうち 1 本を決議を控えたというところで、棒状燃料の本 数としては 260 本、
1:45:25	装荷物としてはレベル構造材も具体的数 1 本を装荷した炉心を考えてお ります。
1:45:33	安全の場合については 2 万円と。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:35	こういった炉心で、シュウマイ事業者検査を受検するというを考えてございます。下の図7には、具体的な受検炉心の配置ですね。
1:45:46	介護が向上年度になっておりまして260戸で、その中心にデブリ交通会の板井の施設を配置させて、上下に安全を配置させたこういった炉心で、
1:45:58	障害事業者検査を受検したいというふうに考えてございます。説明は以上になります。
1:46:07	はい規制庁の井上でございます。ただいま説明に対して規制庁からコメント等ございますでしょうか。
1:46:17	つけちょカネコです。
1:46:20	見ております。
1:46:21	まずシュウマイ
1:46:26	センターの方からお願いします。検査の方については、検診部の所管ではないので、
1:46:34	計画の話は、警察と打ち合わせをしていただきたいんですけども、
1:46:39	今のご説明の内容は、障害事業者検査を、
1:46:44	何でしょう、最初は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:49	言ってですねあまり厳しく、厳しくない炉心で始めて、徐々に、
1:46:54	厳しい方っていう話をされましたけど、複数回検査を受けるっていう
1:47:01	御説明。
1:47:03	と理解してよろしいのでしょうか。
1:47:05	減少以降のイシイですけども、欧州事業者検査とか使用前確認、表面確認としては1回を考えております。
1:47:16	ただその週は確認時に厳しい炉心にできないというところがありますんで、その後実験、範囲を拡大するにあたっては事業者の使用前事業者検査と、
1:47:29	制度を利用して、徐々に実施範囲を拡大していくということを考え、
1:47:35	おります。
1:47:37	技術もそうですが、商売事業者検査ではなくて、事業者だったんですか。そうですね、すみません、近畿事業所検査です。
1:47:50	東証が確認足場事業者検査なんかてますけど、
1:47:55	一番
1:47:58	厳しくない誤診で受験したいという
1:48:01	ネットワークは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:03	勉強する。
1:48:06	繰り返しますがこれは検査課と打ち合わせしてください。障害確認の合格基準は設工認通りであると。
1:48:14	いうのは大前提となっているので、
1:48:17	不幸人にゆるい炉心の定義がなされていない以上、合格は出せないんじゃないかと思imasuので、そこ早目にご相談をされて、
1:48:26	現状況の総務です。はい。県さんとも相談いたしますが、やはりそこはですね、臨界実験装置の特徴でもあろうかと思imasuので、そういった点も踏まえて改善を説明して参ります。はい。
1:48:43	もう1点、ワー、
1:48:47	毛利段階で、
1:48:58	もう、
1:48:58	今のご説明では設工認段階では、炉心構成要素の組み合わせの範囲を明確化しますと。
1:49:05	その上で獲得せ、
1:49:08	整地が制限された範囲におさまるかどうかの見通しを示すんですとい う、そういう話でしたけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:18	だからと単純理解する等、範囲の明確化をなされていないし、
1:49:24	それに基づく、
1:49:26	制限値、
1:49:28	生み出されるかどうかということ、を示されていないように感じるんですけど、何かあれだと当社の方が入ってます、それとも、やってるつもりなんですけどそういうことでしょうか。
1:49:40	はい、阿部俊行の医師ですけども、それは我々としてはやってるつもりというかお示ししてるつもりでございまして、1ページで示した
1:49:51	比較的整備率を満足する見通しというのは補足資料の、伊勢館の3で示した解析のところ、今回工認で申請している
1:50:03	デブリ構造材みたいを具体的に搬出してある程度網羅的に解析して、どれが厳しい炉心なのかということをお示ししまして、使用し、示してですね。
1:50:14	核的制限値を満足してるということを示しておりますんでそれで、
1:50:19	見通しを示しているというふうに考えております。
1:50:27	この資料説明資料の議員職に対する、61-3でしたら、2ページの上の、上半分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:41	議事録です。
1:50:43	清さんの質問の趣旨をとらえまして、
1:50:48	そういう意味で、今回解析で示したのは、コンクリートだけですよね。 それから鉄だけってというような、単一の変更範囲でしたので、
1:50:59	それらをテストコンクリートを入れたらどうなるんだとかですね、あと、燃料試料そういう間に、じゃあテストがコンクリートを入れるっていった場合に、それから、じゃあ、どういうふうな
1:51:13	入れるのか。
1:51:16	それらの線がちょっとこの文章には、
1:51:19	なかったんです。それが私の頭の中では、
1:51:23	当然、
1:51:25	0 から 100 まで振っている、コンクリートも 0 から 100 万で、燃料試料として作る、
1:51:36	模擬体もそういう意味で、コンクリートと燃料と鉄道、これらを混ぜ合わせて作ったということで 0 から 100 の、
1:51:44	極端な範囲で示しているの、それら燃料とコンクリートと鉄の 3 成分、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:50	それらを割合で、なぜとしてもですね、そういった極端な減り方が、その中に収まるというような前提がありましたものですから、その考え方ですね。
1:52:01	それを組み合わせ、
1:52:03	通して説明すると、追記はちょっと対応していないように上げるんですが、説明は、考えてたら、
1:52:13	かもしれないんで、
1:52:17	違う説明の仕方をするというのは、それぞれ説明をしていただいたかっ たんですけども、従来の方針と書いてないんですね。はい。あれはまだ 炉心性腸炎です炉心構成要素の組み合わせ単位のメーカーも来るので、
1:52:31	信用性、構成の組み合わせの範囲はこうなんですっていうのをまず、説 明してもらって、そのあとに、それらも
1:52:46	スって、
1:52:47	していただければと。
1:52:50	議長。松森。はい。はい、承知いたしました。
1:52:57	規制庁井上です。
1:53:00	成長しない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:02	今のご議論ですとこの資料の8-4は、第2回、第2回、
1:53:07	次の審査会合で使用される予定です。
1:53:11	はい。
1:53:15	はい。
1:53:18	刈り取り票の回答もありますし、それから、最後資料、1問1辺にも書いてございますが、中心は、この資料で、回答書と、
1:53:28	うん。
1:53:33	それから
1:53:34	これ全体じゃない。
1:53:36	次の議論の場なので、
1:53:39	不明だなと思ったら、
1:53:42	上ですという話をして、議論をすれば、
1:53:46	じゃあですね、代表理事の話については、
1:54:06	なかなかちょっとよろしいですかね。
1:54:12	岐阜の考え方に基づいて、
1:54:17	いろいろと、
1:54:20	明日よと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:22	いうところだと思いますけど。
1:54:28	ええ。
1:54:30	すごいいいところがありました。
1:54:35	ご説明お願いいたします。
1:54:43	時間、まだあれですか、技術課。
1:54:49	はい。石井ですけど、今の最後、
1:54:53	はい。はい。8-4の資料の説明は以上です。
1:54:58	とりあえず、7ページございますけれども21ページ。
1:55:03	パワーポイントです。
1:55:06	では、他で回答済みの案件と同じであると。
1:55:11	変えてます。
1:55:20	あ、はい。
1:55:21	じゃあ、
1:55:23	深く、
1:55:26	8の、
1:55:27	は、資料8-3の10ページの案内等、
1:55:31	があります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:35	ページ 6 ですね、4 枚 3000 万。
1:55:38	場合は、
1:55:40	能登佐久間時は、
1:55:43	一番上から 2 番目か、どちらか一番厳しい方が落ちないという
1:55:48	計算でしょう。
1:55:49	はい。よろしくいただきます。はい、おっしゃる通りです。すべてに対して計算を行いまして一番厳しかった結果を採用する方針として、
1:55:59	規制庁シブヤでしょうといたしました。
1:56:07	はい。
1:56:10	次、
1:56:12	炉の安全盤が、
1:56:13	なぜなのか。
1:56:17	はつまり、八木衛藤。
1:56:20	吉見宗加来の人で、
1:56:24	落ちないので、はい。はい。そうですね。解析の結果、やはりどの安全盤が厳しいかというのが変わってきますので。はい。そういう、そういう意味では、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:39	文章中での説明、
1:56:43	成長してるんですけどまた話変わりますけど、今回、設工認って聞いて て大相関と、
1:56:51	吉見側にも出てくる案内管っていうのは、
1:56:54	同じものなんですね、違うものなんですけど、原子力を依頼する案内管 というのは違うものでございます。案内管というのは、可動装荷物駆動 装置という、すでに認可いただいた、
1:57:06	下部がございまして、これは炉心タンクの下から炉心の中に少量サンプ ルを機械挿入すると。
1:57:15	その時に、資料が通る。
1:57:18	道を炉心タンクの中に、
1:57:21	受けますけれども、チューブが案内管と呼ばれる
1:57:28	代表課は今回ここに来たいというもので、別の問題。
1:57:34	はい。
1:57:41	よろしい。
1:57:43	すいません今日の最後の4、4、8-4 シブヤですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:59	実際、このマイナス3乗式のところ入体操競技がありますけども、この該当9ってのは上のa t。
1:58:07	あ、これは該当距離は修正イシイ
1:58:12	のグラフの形。
1:58:15	してるものをこの図の中にあらわせるものではございません。はい。はい。中世CO、
1:58:25	形を考えたときに、炉心のはじ中性子が、
1:58:29	がゼロになるという、ちょっと、
1:58:32	離れたところで、中性子束が迷路になるとした方が、計算が合うという金城の話でございまして、その堅持を考えたときのパラメータの一つが該当する。
1:58:50	そういう意味では、ちょっとこれ原子炉物理、
1:58:56	さ、ちょっと資料が変わりますけれども、8-2で、
1:59:04	年間の
1:59:06	が、
1:59:18	水が入る。
1:59:19	言って、なおかつこの燃料が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:21	あるところ、ここで振ら中性子束が盛り上がるわけですね。その時に、 一般的には、コサイン分布になりましてちょうどこの中心で、P E E K
1:59:34	になって、それで橋に行けば下がってそういうコサインの分布になりま す。そのときに、この燃料の、
1:59:43	等、水でも割れているところで、その中で相関0になるのではなくて、 若干その
1:59:50	このミート部、燃料の三分分からプラス、
1:59:55	したところで、0になるという近似を行うんですけども、その時の
2:00:00	この林業、
2:00:02	それから、0となる時点を該当した距離が、
2:00:06	このあたりになっております。
2:00:10	この辺は原子炉物理でございまして、審査会合資料で説明するような内 容ではないかなと思ってます。省略しております。はい、わかりまし た。
2:00:22	そうですね。はい。経営助教の宗です。はい。そういう意味で炉心の
2:00:29	水位で決まる定数だと、いうような
2:00:34	収穫ですね、この外挿距離のところに、そういったことをちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:38	追記いたします。
2:00:49	規制庁、今田でございます。
2:00:51	その他ございますでしょうか。
2:00:55	うん。
2:00:57	宮内になりますけども、もし清都市ガス基本の新地は燃料棒何本で検査を受ける。
2:01:07	はい、はい、原子力機構、由良です。
2:01:11	今、この
2:01:13	資料、
2:01:15	補足説明資料3の資料8-4をめくっていただきます資産作業。
2:01:22	はい。ここに書いてある燃料、炉心、
2:01:26	のデブリ構造材みたいなところも現状にした。
2:01:31	を、今、考え、
2:01:34	60
2:01:35	はい。
2:01:36	これが今これ200、赤が260本なんですけども、白いところ、現状ですね、161本になる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:43	そういう個人を考える。
2:01:46	これは検査された。いや、まだございません。はい。どのようにするか というのは、
2:01:53	原子力機構の質問ですが、そういう意味で、設工認段階では、解析の見 通しを示すために、若干簡易なモデルで計算しております。
2:02:05	この初回方針を組むときには、
2:02:08	もっと緻密なモデルで解析するんですけども、
2:02:12	そのときに、
2:02:15	約 260 本って書いてあるのが、場合によっては 265 本になったりしま す。
2:02:21	そういったものを踏まえて、受験の指針を決めるということと、あと実 際がそういった大枠で決めておいて、また水位で委員会調整しますの で、
2:02:32	二つのメールを本すると。
2:02:35	それから水で臨界にするという、そういったことで、受験の人を、
2:02:39	選定いたします。
2:02:47	規制庁井野でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:51	規制庁します。
2:02:53	先ほど言ったことは、
2:02:58	新設工認、
2:03:00	法人構成を示す。
2:03:03	私は、
2:03:08	すぐ
2:03:09	ページ。
2:03:12	リンカイサンの解析範囲。
2:03:16	示した。
2:03:19	炉心の構成範囲を示すっていう。
2:03:22	こういう評価なんかで示してるのかと勝手に思ってたんですけども、そういう示し方はされないっていう、そういうこと。
2:03:33	はい。いや、今日と何か資料の、
2:03:38	8-4 ですかね。はい。
2:03:45	4 ページ。
2:03:47	ページ目。
2:03:53	証明書。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:59	使う。
2:04:01	だから、
2:04:04	棒状燃料、
2:04:05	あとデブリ模擬体とか、そういった範囲を、ここで、
2:04:09	今、
2:04:10	それが表みたいな形で、
2:04:14	とって、
2:04:15	ちょっと字が違って、
2:04:17	恐縮ですけど、4 ページ目で言いますと、
2:04:20	左側のところですね、炉心構成のところ、まず工場燃料の本数の範囲を決めたり、
2:04:29	それから右側に行きまして、
2:04:38	右側の上から2行目ですね、実験用総括というところである。
2:04:45	ここを集中したり、或いは別表に飛ばしたり、
2:04:50	どういった組み合わせにするかというのをわかるように、期待ということになります。
2:04:58	きちっとするということは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:01	炉心構成者の中で示さはっきり示される。
2:05:08	はい。木崎河野総務。そういう意味では、
2:05:11	設工認段階で、
2:05:14	うん。
2:05:16	資料 8-3 の、
2:05:19	19 ページの、
2:05:20	参考の 1 で示したのは、もうこれは今回の政府購入の範囲すべてを網羅したものでして、
2:05:26	その中から、また、実際にですね、老人恒設ない、先に
2:05:36	鉄の方だけの炉心構成書を作る場合もあるかもしれませんし、それから コンクリートだけの範囲を
2:05:46	それらがわかってから、今度はテストをコンクリートを両方使えるよう な、そういう厚生省ということで、
2:05:56	もちろんあちこち飛んだけれども、
2:06:01	84
2:06:02	資料ですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:06	炉心厚生省自身もですね、こういうふうに添付隊員を拡充していくと、 そういうふうな運用になります。
2:06:25	その他ございますでしょうか。
2:06:29	結局側から、全体を通じて何か、
2:06:33	ございましたらお願いします。ちょっと。
2:06:39	新宅のコメントを受けたらば、
2:06:46	原子力オイラーください。手直しした方がいいところ。
2:06:50	課長ございましたので、
2:06:53	はい。
2:06:56	ありがとうございます。はい。はい。審査会合まで、早ければ、2週 間、
2:07:08	本日のコメン
2:07:10	早めに、
2:07:13	はい。
2:07:16	はい。
2:07:19	例が、JAが皆さんの方から何か、
2:07:22	ございますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:24	議事録をいただいて、私の方からはございます。
2:07:29	よろしいですか。
2:07:30	それでは本日のヒアリング終了したいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。